



道総研

函館水産試験場の概要

はじめに

本道の水産業を発展させていくためには、その基本となる水産資源の持続的な利用と増大などを図る必要があります。

そのためには、的確な水産資源の資源評価・管理手法の開発や効率的な種苗生産・放流技術等の開発を進めることが重要になっています。

水産試験場は、技術面でこれをサポートする役割を担っています。

水産試験場は、函館、余市、釧路、網走、稚内、室蘭、恵庭に設置されており、効率的に試験研究を進めるために、道立総合研究機構の試験研究機関相互はもとより、大学、(国研)水産研究・教育機構、市町村及び漁協等との連携等を図りながら試験研究を進めています。

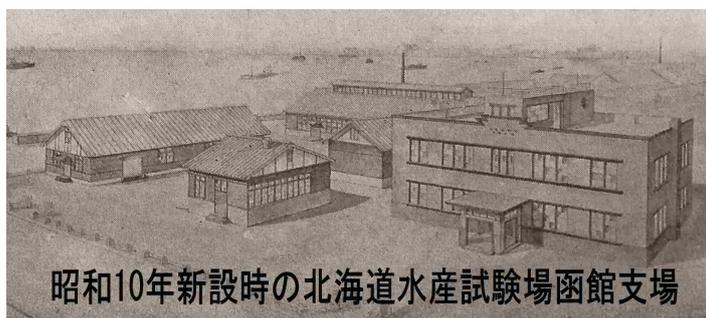
また、函館、釧路、稚内水産試験場には「試験調査船」が配備されています。

函館水産試験場は、渡島、檜山海域を担当エリアとしています。

この地域は海岸線延長が約610km、噴火湾、津軽海峡及び日本海に面しており異なる海況・漁況を呈しています。

沿革

- 昭和 3年 函館市に北海道水産試験場函館支場設置
- 昭和10年 函館支場新築
- 昭和25年 国の水産試験研究機関の機構改革により函館支場が北海道立水産試験場函館支場と北海道区水産研究所函館支所に分離し併置
- 昭和39年 機構改革により、北海道立水産試験場函館支場が独立し、北海道立函館水産試験場となり室蘭分場を管理下に置く。
- 昭和40年 函館水産試験場新築
- 昭和57年 室蘭分場が室蘭支場に昇格
- 平成18年 室蘭支場が新たに設立された栽培水産試験場に統合
- 平成22年 地方独立行政法人北海道立総合研究機構水産研究部函館水産試験場
- 平成26年 函館市国際水産・海洋総合研究センター内に移転



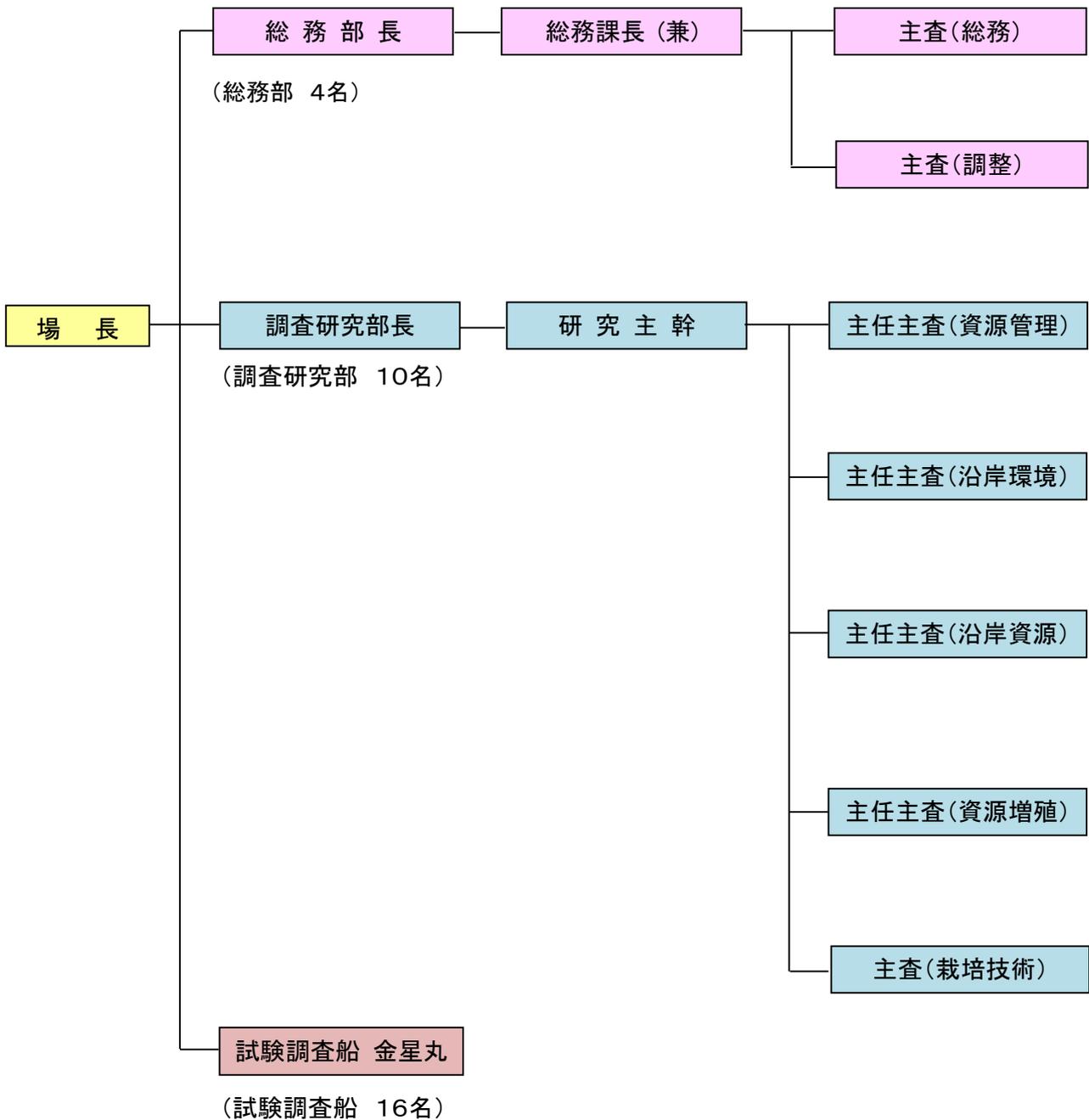
昭和10年新設時の北海道水産試験場函館支場



組織

[職員数 31名]

- ・ 行政職 4名
- ・ 研究職 11名
- ・ 海事職 16名



研究課題等

函館水産試験場

- 拠点研究課題：噴火湾の養殖ホタテガイ研究、マコンブ研究、ナマコの栽培技術開発、スケトウダラおよびスルメイカ漁況予測・資源管理研究
- 主要地域課題：ホッケの資源管理研究、ガゴメの養殖技術開発、ウニの種苗生産技術開発、沿岸海洋環境調査等
- 青森県との研究交流の推進

研究海域等

試験調査船金星丸の調査海域(渡島・檜山・後志・胆振・日高地方の各海域)



業務状況



スルメイカの測定



スケトウダラの測定



トヤマエビの測定



ホタテガイの調査



マツカワの放流



ナマコの粹取調査



ガゴメ促成養殖試験



高校生の見学研修

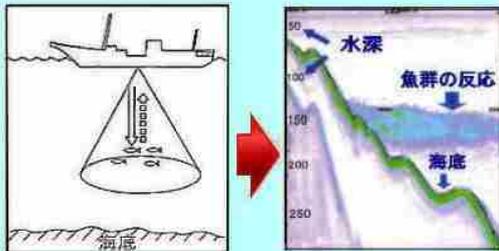
資源調査に基づく資源評価

資源調査や資源評価の方法は魚種により異なりますが、概ね次の手順で行っています。

資源調査

試験調査船による各種調査

■魚の数、サイズ、分布状況等の調査



科学計量魚群探知機による調査
《魚の数やサイズなど数多くの情報を得ることができます。》

エコーグラム

漁船からの情報、漁獲データの整理

■分布状況、漁獲状況等の調査



漁船からの情報入手

漁獲データの整理

検体の測定

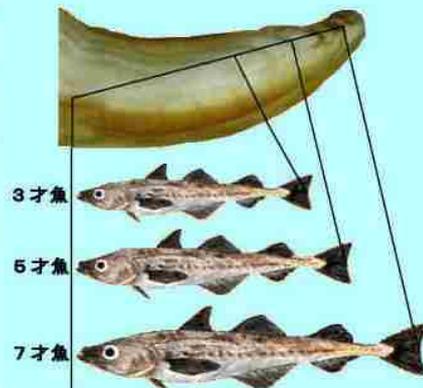
■体長、体重等の測定と耳石による年齢査定



体長、体重等の測定



耳石の採取



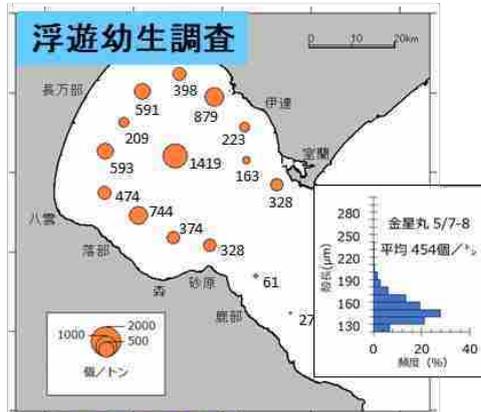
耳石による年齢査定

資源評価

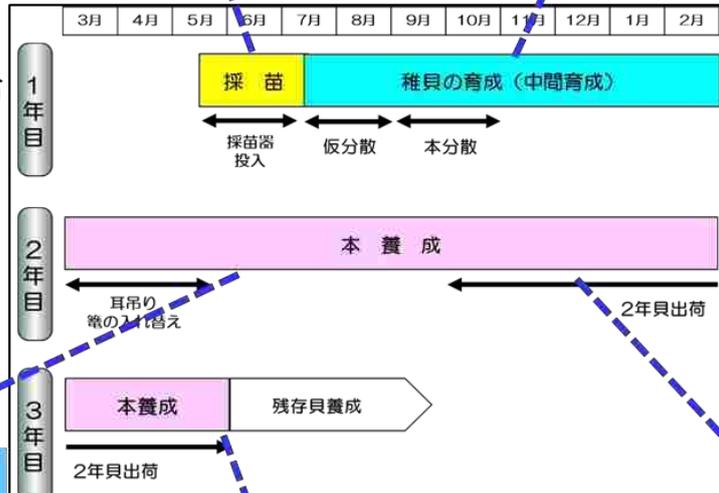
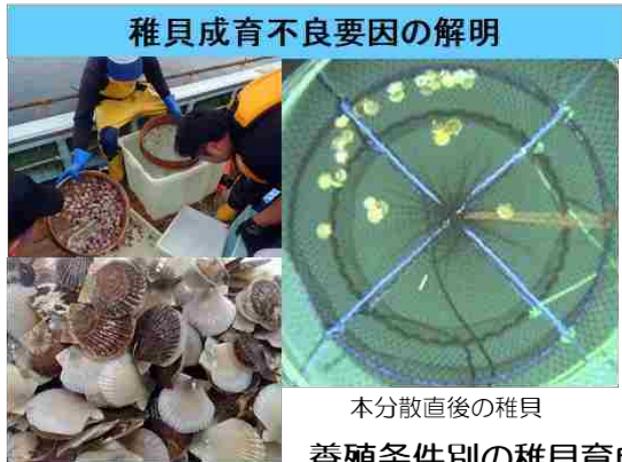
- ◆資源の現状分析（分布・回遊、資源量推定等）
- ◆資源診断（資源水準及び動向の推定）
- ◆資源管理方策の提言（体長制限、保護区の設定等）

ホタテガイ養殖技術等の調査研究

噴火湾の養殖ホタテガイの生産が安定的に持続できるよう
養殖工程毎に様々な調査研究を行っています



浮遊幼生の分布



噴火湾の
養殖ホタテ
ガイの
生産工程



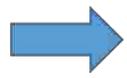
耳吊り貝の成長調査
環境観測



プランクトン調査の出現状況把握、情報配信



漁業被害実態の把握
情報配信



適切な養殖管理・出荷計画を支援



試験調査船

試験調査船 金星丸

渡島・檜山・後志・胆振・日高地方の総海岸延長が約 1,300kmの海岸でイカ、スケトウダラなどの資源調査と海洋観測などを行っています。

総トン数 151t(L=33.79m B=7.10m D=3.05m)

主機関 1300 馬力

最大速度 試運転最大 14.0 ノット/時
航海 12.5 ノット/時

竣工 2001年3月5日

定員 19名

主要設備

甲板機械装置（バウスラスター、ベッカラダー他）

漁撈設備（全自動イカ釣り機、ライン・ネットホーラ他）

航海計器（電子海図情報装置、気象衛星受動装置他）

観測装置（科学魚群探知機、多層音波流速計、CTD測定装置他）



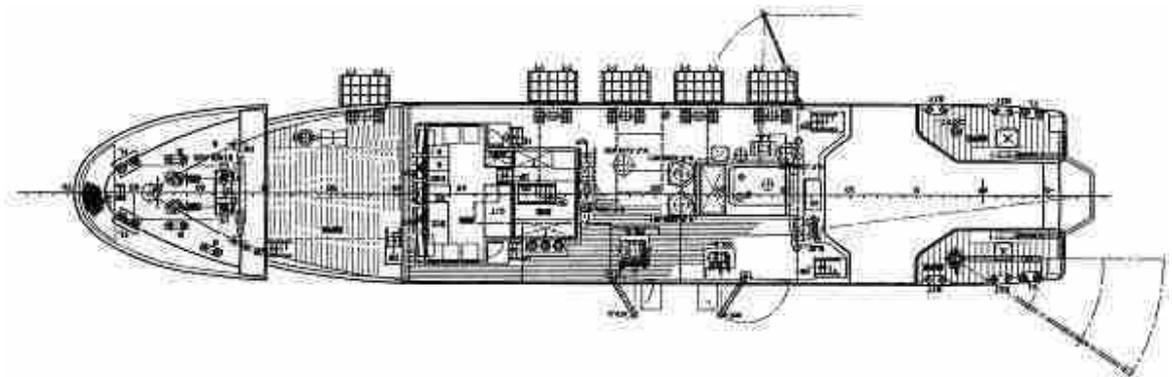
航行中の金星丸



機関監視室



操舵室コンソール



平面図

【所在地 案内図】



ACCESS 【アクセス】

函館駅から

- ・市電約 15 分
(函館どつく前行き、函館どつく前下車 徒歩 15 分)
- ・タクシー約 15 分

函館空港から

- ・函館駅前までバス約 20 分で上記に乗り換え
- ・タクシー約 30 分



地方独立行政法人 北海道立総合研究機構

水産研究本部 函館水産試験場

〒040-0051

北海道函館市弁天町20番5号

函館市国際水産・海洋総合研究センター内

TEL 0138-83-2892(総務課直通)

0138-83-2893(調査研究部直通)

FAX 0138-83-2849

<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/hakodate/index.html>